

善か？悪か？

この「ココロ機械」が壊れても、君を守る

キカイダー


REBOOT

5.24

ROADSHOW

入江甚儀
佐津川愛美 高橋メアリージュン
原田龍二 中村育二・伴 大介・山中 聡 長嶋一茂
本田博太郎 石橋蓮司
鶴見辰吾

原作 / 石森章太郎 監督 / 下山 天 脚本 / 下山 龍人
音楽 / 倉川清之 アクション監督 / 田淵崇也(Gocco) VFXスーパーバイザー / 美濃一彦(ツークン研究所)
「キカイダー」製作委員会(KADOKAWA 東映 テレビ朝日 アサツー ディ・ケイ バンダイ 木下グループ 日本コロムビア) 配給 / 東映

©石森プロ・東映 ©2014「キカイダー」製作委員会 NOT FOR SALE  www.kikaider.jp

伝説、再起動

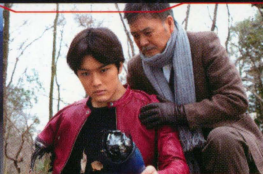
ヒーロー新時代突入!



INTRODUCTION

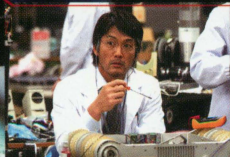
1971年、「仮面ライダー」のスタートによって開幕した“変身ヒーロー”の時代。翌年、巨匠・石森章太郎が新たに挑んだのが、「仮面ライダー」の“改造人間”に対して“人造人間”=アンドロイドを主人公とした「人造人間キカイダー」だった。ロボット工学の権威・光明寺博士によって、体内に不完全な「良心回路」を埋め込まれて誕生したアンドロイド・ジローは、その「良心回路」の存在ゆえに、正義と悪の感情を持って、苦しむことになる。人間とアンドロイドのせつないラブロマンスや、宿命のライバル・ハカイダーの存在といった要素が幅広い層に受け入れられ、「キカイダー」は高い人気を博した。今もなお「キカイダー」を“石森ヒーローの最高傑作”として支持するファンは多い。そんな「キカイダー」が、最新の造型&VFX技術や、今日的なテーマ性を備えた物語とともに“再起動”する。原作やテレビシリーズが持っていた魅力を再構築した完全新作『キカイダー REBOOT』の誕生だ。

——これは日本における「ヒーロー映画」、新時代への第一歩である。



STORY

ロボットの平和利用によって日本国民に幸せをもたらそうという「ARKプロジェクト」が進行していた。しかし、その過程で、ロボットに“心”=「良心回路」を持たせようとした主任研究員の光明寺博士と、それを否定する立場の研究員ギルバート・神崎が激しく対立する。そんなとき、光明寺博士が非業の事故死を遂げた。彼が息子・マサルに体に残した研究データを狙って、謎の特殊部隊が動き出す。狙われるマサルと、その姉・ミツコを守ったのは、光明寺が造ったアンドロイド・ジロー。やがてミツコとジローは人間とアンドロイドの壁を越え、静かに“心”を通わせていくが、ジロー=キカイダーを破壊しようとする暗黒の戦士・ハカイダーが現れて——!



“新旧キカイダー”METALLIC クリアファイル付

前売券発売中!

(一部劇場を除く)

前売券料金(税込) 一般1,300円 / 中学生・小人(3歳以上) 800円



善のブルー! 悪のレッド!
あなたはどちら!!

※プレゼントは劇場により数に限りがございます。
※プレゼントのデザインは実物と異なる場合がございます。